

若者言葉の発祥を考える

山中龍世 23B21808

東京工業大学物質理工学院

1、はじめに

近年、若者達から馴染みのない言葉をよく聞くことが増えてきているように感じる。自分も若者のはずなのに知らない言葉をよく聞く事から、どこで作られた言葉であるのか疑問に思ったため。

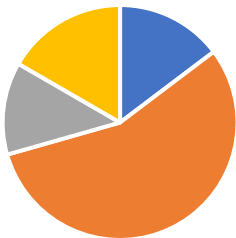
2、方法

実際に周りの人たちが若者言葉をどのようなところで知るのかを調査するために、アンケートを約100人に実施した。調査内容は友人、インターネット、テレビ、その他のどこから若者言葉を知ることが多いかというものである。

3、結果

アンケートの結果は

若者言葉をどこで知る



■ 友人 ■ インターネット ■ テレビ ■ その他

4、考察

アンケートの結果から見て取れるように、若者言葉はやはりインターネットが発祥の地となることが多いことが分かった。次に多かったのは友人を介して知ることであり、その次がテレビから知るというものであった。今の時代の若者の流行がYouTubeやX(旧twitter)にあることが、インターネットが若者言葉の発祥となりやすいのだと思う。また若者言葉は文字通り若者が使いコミュニケーションをとる一つの方法であり、そこに特別感を感じ、使い勝手が良いために若者が多用するのだと思う。

5、おわりに

若者言葉の発祥についてアンケートを実施してみた結果、やはり若者から一番需要があると思われるインターネットが発祥となっている事が分かった。

文献：

山口 仲美 (2007) 若者言葉に耳を澄ませば 講談社

という結果であった。